

進路だより



令和5年5月9日
新座市立第五中学校 進路指導部
第4号

3年生最初の中間テストに向けて、計画通りに学習できていますか。進路だより第2号で、私立高校はほとんどの学校で推薦制度があるということを伝えました。私立高校の受験については、私立高校が第1希望の人だけでなく、県立高校が第1希望の人も併願校として受験する場合がありますので、推薦制度はほとんどの人にかかわってきます。推薦制度にはいろいろな形式がありますが、主なものとしては、校長推薦、自己推薦、保護者推薦などです。その中で、校長推薦を希望する場合には、五中の推薦基準をクリアしている必要があります。校長推薦の基準を下記に載せておきますので、自分ができていないと思うところがあったら、基準をクリアできるように今日からがんばってください。

新座市立第五中学校 私立高校等における校長推薦の条件

- 1 本人の動機がはっきりしており、保護者とともに推薦を強く希望していること
- 2 授業に前向きに取り組む生徒であること。
- 3 服装・言動等、中学生らしい生活をしている生徒であること
- 4 本人の希望する高等学校等の推薦基準に適合していること

1の条件 については面接等で聞かれることが多いので、なぜその高校に行きたいのか、高校でどんなことをしたいのかなど、志望理由がはっきりしていることが大切です。

2の条件 は、授業態度や提出物など「普段の学習への取り組みがしっかりできている」ということです。

3の条件 は、「決まりを守り、自分の役割をきちんと果たし、自分の行動に責任を持ちましょう」ということ、言い換えれば、「当たり前のことをきちんとできる」ということ。具体的には、「遅刻をしない」「正しい服装ができている」「給食当番や清掃などの当番活動に進んで取り組んでいる」「係や委員会の仕事に進んで取り組んでいる」などです。また、いじめや暴力行為、喫煙等の反社会的行為があった場合などは推薦の対象にはなりません。

4の高校の推薦基準については、校長推薦だけでなくすべての推薦制度で基準をクリアしていないと推薦受験ができません。基準は各高校等の説明会等で明らかになりますので、推薦の基準までもう少しという人は、努力するしかありません。通知表の成績で基準が決まっている高校も多いですが、校外での会場テストの結果が基準として使われている高校、通知表の成績と校外での会場テストの結果を併用する高校もたくさんあります。目標を達成するために、具体的に教科ごとの目標ややるべき事をきちんと決めて、計画的に学習に取り組みましょう。また、成績の基準だけでなく出席状況なども含めて推薦の条件になっている高校もありますので、注意が必要です。また、英検等の資格や、部活動の成績などが加点項目になる高校もあります。何が加点されるのかは、高校によって違いますので、希望する高校が決まったら説明会等に参加して、しっかり調べておきましょう。

受験に向けて日々の学習にしっかり取り組むことが大切ですし、生活面でも気を引き締めて自分のやるべきことに自主的に取り組めるようになることが大切です。

3年生は自分の将来を決める上で、これからとても大事な時期になります。校長推薦については、今できていないことがあっても、改善されれば、推薦の対象になりますし、反対に、指導されたにもかかわらず改善されなければ、推薦されません。また、校長推薦の条件に上げられている項目は、五中生にこういう生徒になってほしいということでもありますので、校長推薦の希望の有無にかかわらず、自分の生活を見直すきっかけとして、よく読んでおいてください。

これからの学校生活で、生活面がしっかり取り組めるようになれば、自然と学習に対する取り組みもより良いものになっていきますし、前向きな気持ちで進路を考えていくことにもつながっていきます。ですから、この機会に自分の生活や学習への取り組みを見直し、自分や周りに甘えた気持ちをなくして、自分のために努力しましょう。また、クラスや学年の仲間とだめなところは注意しあい、がんばっているところは認めあい、できないところは助けあっていくことで、みんなで協力できる良い雰囲気を作っていってください。学習だけでなくふだんの生活の中でも、全体で一生懸命に取り組んでいく雰囲気ができれば、ひとりひとりの力も思った以上についてきます。希望の進路の実現に向けて学年全体でがんばりましょう。